

ニュースレター

(第14号) 2005年5月11日発行



「生涯学習」ユネスコ提唱から40年



「生涯学習」を、単に一生涯の勉強という普通名詞と思ってはいないでしょうか。

実は、現代的な思想と意味を持ち、法的な枠組みをもった用語で、国民の権利

であるとともに義務でもあるのです。

行政も、市民が意欲と目的をもって常に学習する環境を整え、情報を提供し、その機会を提供する義務があるというのが「生涯学習」です。そして重要なことは、市民の自主的な学習の成果を、評価するシステムがコミュニティを構築することです。

今年は、こうした「生涯学習(Lifelong Learning)」の概念が、国連のユネスコによって提唱されて四十年の節目であります。

ユネスコ本部のポール・ラングランは、「現代の人間は、学校だけではなく、成長発展に伴って学ぶべき課題を持つ」とし、いくら高学歴で学生時代の成績が

良くても、そんな知識や技能は数年経たずして陳腐なものとなり、社会の進歩に追いついていけなくなると世界の市民に呼びかけたのです。学生時代になすべきは、時代の流れと人生のプロセスに沿って、常に学ぶべき課題をもち、「自ら学習する態度を身につけること」と說いたのです。

こうした国際的な呼びかけに応じ、昭和五十六年六月に日本でも「生涯学習について」と題して中央教育審議会が文部省に答申し、教育体制の見直しがはじまりました。高知県も昭和六十三年基本構想を策定、その具体化のため平成二年三月に推進計画を作り、同年六月に「生涯学習の振興の為の施策の推進体制等の整備に関する法律」が制定されています。

いま一度、各自の「生涯学習」の環境を見直してください。そして私どもの組織も活用してください。



お知らせ 食文化連続講義 III

下記のような題目(仮題目)で第III期食文化連続講義は設定が終わりましたが、講師の日程調整が難航しています。6月下旬から、KOLECのある高知市大原町132番地、教育センター分館南棟2階で毎週水曜日、午後6時30分から8時までの予定で開講します。詳細な日程はKOLECニュースレター6月号で出しますが、会場の関係などから今回から一講座500円となり、無料駐車場もありますので多数のご参加をお待ちしています。

講義内容

安全な食品とは!賢く食品を選ぶのは誰か?
買っても、栽培しても、あとどう保存するの?野菜の保存方法
外国人の見た土佐の食文化
ふうどフード、スローフード、時間差攻撃?
新しい食材を地元に求めて!革新派の動き(創造)
おいしい郷土料理は自らの手で!保守派の動き(伝承)
食農教育・食育
高知直販所物語、アンテナショップ
地産地消(自讃自称?)の進め
地場に求めた我が家の料理?(シンポジウム)

車軸を「土佐の伝統産業・炭の文化と科学に学ぶ」として

家庭教育推進事業・父親の家庭教育参加型学社融合

学校教育と家庭教育が車の両輪のように一体となって教育や学習の環境を構成することは学社融合として知られています。両者がそれぞれの役割分担を前提とした上で、学習の場や活動など両者の要素を重ね合わせながら、子どもたちの教育に取り組んでゆくことは、子どもたちへの豊かな教育を創造し、新しい町作りにも繋がり、双方にメリットを生み出でてしまう。

学校教育の現場において、地域の人々とのさまざまふれあいによる授業を意図的に組織し、同時に参画する社会人の社会教育も充実させる学社融合は、高知県教育委員会事務局でも啓発に務めています。

私たちNPO高知県生涯学習支援センターは文部科学省の進める家庭教育推進事業「父親の家庭教育参加事業」に参画することになりました。平成17年度は学校教育と家庭教育という車の両輪を連結する車軸として高知県の伝統産業「木炭」を取り上げ、学校・家庭・行政と協働し、父親参加型学社融合「炭焼きおやじ」を展開します。

高知県には土佐備長炭をはじめとする伝統的な木炭産業があり、岩手県、和歌山県などと並び、長い歴史の中で日本のエネルギーを支えてきました。しかし、

現在では木炭生産量も生産者も著しく減少しました。しかし、中国の備長炭輸出禁止施策、暮らしの中での炭の再発見、木炭の多層化技術の開発、環境改善や電磁波遮蔽材料化など新しい木炭の用途が生まれています。

本年度の家庭教育推進事業は学校と一般の両部門で実施しますが、学校関係では、地域の産業と文化、歴史、科学などの学習に役立つよう「土佐の伝統産業・炭の文化と科学に学ぶ」を準備し、総合学習の時間や教科学習などに採用してもらうように準備を進めています。

1.授業は(1)炭の歴史と文化(2)炭の生産と流通(3)炭の科学ABC、の3テーマで構成され、毎週1テーマです。また、可能であれば製炭や炭焼きの歴史的遺産の見学なども行う予定です。

2.講師は木炭の生産者、利用者、研究者たちですが、できる限り地域の父親の方々を講師にお願いする予定です。

3.期間は、2005年7月から2006年2月までを予定しています。

受講生募集

龍馬の手紙を読もう!! 古文書解読の基礎(全六回)

歴史文化に恵まれた土佐。この風土の中で古文書が読めたら人生はまた一段と楽しくなります。岡村庄造先生の指導で、初步から指導して頂き、各地域やグループで指導者として活動して頂きたいと思っています。

また毎回、坂本龍馬の自由闊達な手紙を手本に、練習もしたいと計画しています。お友達も誘って気軽に参加してください。

講義日程

月 日	講 義	内 容	実 習
第1回 5月21日(土曜)	古文書の基礎(1) 古文書の書体	古文書学・古記録・解読心得・崩し字等	歌本表紙、女房奉書、龍馬書簡など
第2回 7月 2日(土曜)	古文書の基礎(2) 古文書の書体	変体仮名・候文・散し書き仮名など	一豊妻の散し書きなど
第3回 9月24日(土曜)	古文書の豆知識	異体字・用字・用語・その使用例・維	墓碑・地震碑
第4回 11月12日(土曜)	石碑を読む(ガイド:岩崎義郎)	浦戸城址・桂浜公園の石碑を現場で解読	一領具足碑・城址碑・龍馬顕彰碑・文学碑
第5回 平成18年1月21日(土曜)	野の古文書を読む	年代・形態分類・画像・凡字信仰分類	五輪塔・卵塔・多層塔など
第6回 平成18年3月18日(土曜)	四国の石仏巡礼	スライドによる紹介・まとめ	念仏・宝号・廻国・巡礼・道祖神など

(変更があるかも知れませんので、参加者は電話 088-833-0022
または、ホームページ <http://www.kolec.jp>で事前に確認をお願いします)

報告 家庭教育アニメータ月例会

テーマ:子どもの問題行動とカウンセリング



問題提起:広瀬典民、山波嘉律雄

参加者:小倉紀子、森田道子、吉村志保子、山崎美智、田村恵子、山内正美、藤原蜜雄(敬称略)

内容:本年度初めての月例会は、参加者全員の意見交換ができました。今回よりご本人の了解を得て、名札をつけ名前がわかるようになり、また参加者が増え顔見知りができたことにより意見の交換がしやすくなつたようです。

だんだん話が弾み、県外から見た高知の学校と教育に話が膨らみました。高知は私学に入学させたがる傾向にあり、低学年から塾通いをしている。また、勉強は塾で教わり、躰は学校で教わるというおかしな傾向があつて、「家庭での教育はどこへやら」の状態の家庭が増えている現状報告もありました。高知の公立学校の先生への指摘もありました。生徒を「お前ら」と言ったり、名前を呼び捨てにすることや、教師がジャージ姿やラフな服装で教壇に立ち勉強を教えているなどなど…。人に教える立場の人間がジャージとは高知県の父兄は何も思わないのか?などの意見もでてきました。

お知らせ 家庭教育アニメータの集い

テーマ:新聞記者の眼で見た高知県の教育

講 師:石川 浩之(高知新聞社学芸部副部長)

家庭教育アニメータの集いは、家庭教育サポーターの方々やメンタルフレンド、教育関係の仕事についている方、また興味のある方を対象にした講演会です。

午後1時30分より2時20分まで石川浩之さんによる講演会の後、午後2時30分より3時30分まで、「これまでの教育とこれからの教育について」などについて石川さんを交え、参加者していただいた皆様と協議したいと思います。

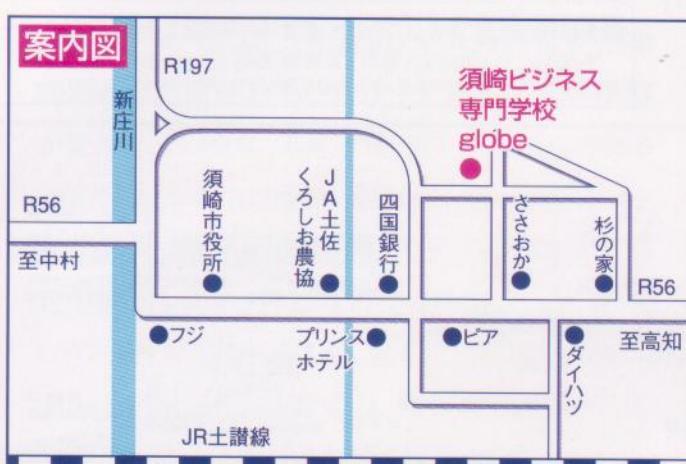
日 時:平成17年6月18日(土) 講演:午後1時30分~午後2時30分
協議:午後2時30分~午後3時30分

場 所:須崎ビジネス専門学校(須崎市赤崎町46)

参加費:無料

お申し込み:事前申し込みが必要です。(電話・FAX・電子メールにて受け付けています)

案内図



主催:NPO高知県生涯学習支援センター

〒780-8031 高知市大原町132番地 教育センター分館 南棟2階
TEL:088-833-0022 FAX:088-833-0023
電子メール:info@kolec.jp

お知らせ 家庭教育アニメータ5月の月例会

家庭教育アニメータ月例会は、家庭教育サポーターの方々やメンタルフレンド、致育関係の仕事についている方、また興味のある方を対象にした勉強会です。3時からは、参加の家庭教育サポーターが一般の方からの相談を受付けていますので、教育についてのご相談のある方もご参加下さい。

日 時:5月18日(水) 13:30~15:30
テーマ:不登校・登校拒否の原因と対策
問題提起:小草 栄喜
場 所:高知市大原町132番地
教育センター分館南棟2階中講義室

KOLECのニュースレターを一緒につくりませんか?

毎月、ニュースレターを発行しています。掲載する情報の編集や校正のお手伝いをしてくれるボランティアの募集をしています。

生涯学習コラムを書いてみませんか?

- KOLECでは、ニュースレターに「私の生涯学習」というコラム欄を作ります。ぜひ、皆さんに「生涯学習」についてコラムを書いていただき、生涯学習を身近なものにしましょう。



高知県視聴覚ライブラリーを利用してください!!



学校・社会教育施設及び各種団体に対して無料で視聴覚教材と機材を貸し出しています。教材(VHS・16ミリフィルム等)は1回5本まで1週間の利用が出来ます。機材(プロジェクター・スクリーン等)は3日間の利用が出来ます。直接借りに来られない方には教材のみ有料で発送もしています。教材のリストは、インターネットでご覧になります。

<http://www.pref.kochi.jp/~syakai/shohgai/library/tree.htm>

電話での予約受付もしています。

発 行 2005年5月11日

NPO高知県生涯学習支援センター(KOLEC)

〒780-8031

高知市大原町132番地(教育センター分館内)

電話 088-833-0022 FAX 088-833-0023

KOLEC 電話進路相談の電話 088-833-0086

電子メール info@kolec.jp

URL <http://www.kolec.jp>

発行人 理事長 山本晉平

編 集 NPO KOLEC編集室/印 刷 中島出版印刷

機材一覧

16ミリ映写機(3台)・OHP(2台)
回転式スライド映写機(1台)
スクリーン 180cm・200cm(各1本)
ビデオ内蔵プロジェクター(1台)
ビデオプロジェクター(1台)
パソコン対応プロジェクター(1台)
8ミリビデオカメラ(1台)
デジタルビデオカメラ(1台)
VHSビデオデッキ(1台)
DVDプレイヤー(1台)
延長コード(1本)
RGB延長ケーブル 10m(1本)

高知県視聴覚ライブラリー 管理:NPO高知県生涯学習支援センター

〒780-8031 高知市大原町132番地 教育センター分館 南棟 2階

TEL:088-833-0022 FAX:088-833-0023

